

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターめぐみ（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育所等訪問支援の様子を保護者に伝え、こども園や小学校での様子がよくわかると、とても喜ばれている。	・前回訪問時から成長している姿を保護者に具体的に伝えている。 ・こどもに対して先生方がどのように関わりをもっているか、情報共有をしている。	・保護者からご家庭での様子を聞き、それをこども園や小学校の先生方にも伝えることで、こども園での保育で工夫できる点を検討するようにしていく。
2	・こども園や小学校に出向き、対象児童に直接関わることで、その児童をより深く理解することができ、先生方にも適切なアドバイスができる。	・対象児童について、こども園や小学校の先生方に深く理解してもらうために、外来訓練での様子や保護者からの情報を詳細に伝えている。	・こども園・小学校・自宅で見せる姿を総合的に捉え、成長を促すために今できることを検討していく。
3	・母体施設（恵の聖母の家）が大分県から受託し実施している「地域療育等支援事業（巡回療育・施設支援）」を活用し、専門職員から支援アドバイスを提供してもらっている。	・保護者の同意のもと、関係機関にも協力をいただき、巡回療育に参加していただくことで、今後の支援につなげる。	・巡回相談など、専門家のアドバイスをもらえるメリットを伝え、積極的な利用を促す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・間接支援としてのカンファレンスを設定するのが困難である。	・訪問支援員(リハビリスタッフ)は、母体施設との兼務であり、業務の都合で必要な回数を実施できないこともある。	・こども園や小学校の運営に支障が生じないように配慮しながら、間接支援の時間を設定していく。
2	・訪問支援員がこども園や小学校に出向くことで、保育所等訪問支援を利用していることが周りに認知され、それを保護者、児童がマイナスに感じてしまう可能性がある。	・支援が特別過ぎるものにならないよう他の児童も楽しめたり、活用できるアドバイスの提供を行う。また、学校や他生徒の協力や理解を得られるよう支援していく必要がある。	・当該事業を利用することが、本人およびご家族にとってマイナスとならないように、意向に沿った支援を行うように心掛ける。
3	・保護者、こども園、小学校等が保育所等訪問支援事業に対する認知度が低いため利用に繋がらない。	・制度や事業内容、またどこに頼んで利用しているのかわからないのではないかな。	・相談支援事業所、外来診察時等を活用し周知を広め利用増加に努めていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		利用児童数		回収数	
児童発達支援センターめぐみ		2026年 2月 27日		4名 2026年 2月 14日		2	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	2					
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2				就学した後の支援の計画もたててくれ安心した。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1			1	学校、担任の先生の意向が示されていないのでわからない。	
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	1				
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的な支援をされていると思いますか。	2					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2					
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2					
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2				報告書に本人の様子や担任の先生と話し合った内容も詳しく書いてくださっている。	報告の際は必ず支援内容の報告を口頭で行うことで安心していただけているのではと思う。	
非 常 時 等 の 対 応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		1	1			
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2					
満 足 度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2					
	28 事業所の支援に満足していますか。	2					

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	2026年	2月	27日	
児童発達支援センターめぐみ	利用児童数	4名	2026年	2月	14日 回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4			バギーの説明、本児にとっての良さなど詳しく聞くことができた。具体例や図で教えてくれたり的確な説明をしてくれる。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4			専門的なアドバイスをわかりやすくもらえるのでとても良い。知識の浅い教員であっても理解できるように説明してくれる。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4			いつも適切に答えてくれ一緒にどうしたらよいかを考えてくれる。その都度丁寧にわかりやすく答えてくれた。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4			月1回来てくれるのでその時の本児の様子をみてもらいどうするべきなのかを教えてくれるので、困ったまま前に進むのではないのでありがたい。担任はもとより、学年全員で同じように知識を持つことができた。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	4			大変満足している。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
対象児についての相談がしやすく、大変助かっている。新年度、新しい担任から保護者を通してまたお願いしたいと思っている。毎月、来ていただきとても勉強になった。実際の場面ごとに対象児童がどのような状態なのかを具体的に教えていただけるので指示の見通しや効率化に大変役にたっている。専門家の知見と現場の見立てがそろうことで大きな変化がうまれることを実感している。日頃からこちら側の要望を受け入れていただきありがたい。専門的療育センターがない市にとっては最も大切な取り組みだと思う。					保育所等訪問支援の活動を理解し受け入れてくださり、大変ありがたく思います。また、ご家族、訪問先と大変ありがたい言葉をいただき保育所等訪問支援の重要性、必要性を改めて実感しております。回数や時間については前回の意見を踏まえ、支援の範囲内で満足していただけの支援が行えたのだと思います。今後も訪問支援員と話しを重ねながら計画を立案し、訪問の際には対象児にとってより良い支援を提供したいと考えています。	

